

設立趣旨

ヘルスケア・サービス事業の有効性と安全性についてエビデンスに基づく第三者認証の仕組みの実現をめざします。

課題

ヘルスケア・サービス産業には構造的な課題があります。有効性と安全性についてヘルスケア・サービスに見合った第三者認証の仕組みがないことが市場の信用と拡大の弊害になっています。経済産業省では、サービスの効果の科学的根拠を第三者的に示す体制整備を推進したいとしています(経済産業省・次世代ヘルスケア産業協議会)。

効果計測の技術やプロセスの不在

ヘルスケア・サービスの疾患予防や健康増進効果を科学的に説明するために学術的な証拠に基づく「効果のメカニズム」とフィールド試験における効果の「統計学的有意性」を示す必要があります。しかし、ヘルスケア・サービスの効果計測の技術や検証方法等のプロセスは世界的にも確立されていないといえます。

コンソーシアムの設置

こうした状況を鑑み、バイオ・IT融合研究拠点として人工知能やサービス工学等の研究を行っている産総研臨海副都心センターは学術研究機関、治験機関、医療機関、第三者認証機関、企業等から個人または法人の会員を募り、ヘルスケア・サービス効果の科学的証拠を得るプロセス、必要な技術等のヘルスケア産業発展の課題を共有し、その解決に組織的に取り組むコンソーシアムを設置することにしました。

第三者認証の仕組みを実現する

コンソーシアムでは、加齢や生活習慣が原因の身体、精神の不調を予防し、健康を増進する民間や自治体サービスの効果の計測法を開発することで第三者認証の仕組みの実現をめざします。講演会、研究会、現場見学等の活動を通して、会員同士の情報交換を促進しながら、社会実装を前提とした第三者認証の方法を確立するためのプロジェクトを提案していきます。活動内容はHP等を通して積極的に広報し、ヘルスケア産業発展のために貢献することを目指します。



産総研 学術研究機関 医療機関 企業 認証機関

講演会 研究会 現場見学会 調査 会誌

RESEARCH

製品・サービスに内在する疾患*、予防効果、健康増進効果を計測する方法
*疾患: 認知症、鬱・ストレス障害、生活習慣病、ロコモティブ症候群

科学的エビデンス(メカニズム解析、統計的評価)の取得方法

科学的エビデンスと矛盾しない効果・安全性の表現方法

第三者認証の範囲や認証プロセス

連携プロジェクトの提案

異分野連携による個別サービスの効果計測プロジェクト

計測・評価手法の標準化・規格提案

第三者認証

サービス産業の
競争力強化・市場拡大